

| | |
|---|---|
| B 1 6 初級 (PC 実習あり) | 欧米特許調査の基本 あらゆる情報を駆使した欧米特許調査の基本 英文明細書の読み方 |
| 講師 | 新井 登 (日本パテントデータサービス(株) 調査部 課長) |
| 日程・場所 | 東京会場 |
| | 5月30日(木) |
| 時間 | 1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45 |
| アクセス | http://www.jpds.co.jp/company/access.html |
| 定員 | 24名(先着順申し込み) |
| 受講料(税別) | 20,000円 |
| 対象 | 特許調査担当の初級者 ※英語力は不問。 |
| 内 容 | |
| <p>欧州、米国の特許は「探したいけど大変では・・・。」ということからなかなか手が出しづらいと思いませんか？本講座では様々なアプローチを駆使して英文が苦手な方でも特許明細書が見つけれれることを中心とし、初心者にも分かりやすく解説した入門講座です。</p> <p>英文の技術用語・同義語、分類選定のポイントと留意点、英文明細書の読み方から機械翻訳文と原文の比較までを英語の初心者にも分かり易く解説いたします。また、実際に調査ツールを使用して体験して頂きます。</p> | |
| プログラム | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 特許調査の流れ <ul style="list-style-type: none"> ・何を調べる？ ・文書化された資料・特許は？ ・出願していそうな企業名は？ 2. 日本の情報(パテントファミリーと引用文献の確認) 3. 特許分類の特定 <ul style="list-style-type: none"> ・国際特許分類(IPC)、日本国内特許分類(FI) ・欧米特許分類(CPC) 4. キーワードの確認 <ul style="list-style-type: none"> ・分類からのキーワード選定 ・発明の名称からのキーワード選定 5. 実際の検索(演習) 6. 英文明細書の読み方(演習) | |

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ 日本特許庁データベース(J-PlatPat)と欧米特許庁データベース(Espacenet)の検索実習を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。)
- ・ 英語力は問いません。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。